

検査機器ニュース

(1) 2024年(令和6年)10月5日(土)

(毎月5・20日発行) (昭和34年12月20日創刊)

第1525号

発行所 産報出版株式会社
東京本社 東京都千代田区神田佐久間町1-11
〒101-0025
TEL 03(3258)6411(代表) FAX 03(3258)6430
関西支社 大阪市浪速区元町2-8-9
難波ビル 〒556-0016
TEL 06(6633)0720(代表) FAX 06(6633)0840
〔購読料 1年19,506円(税込)
ホームページURL: http://www.sanpo-pub.co.jp

マークテック(西本圭吾社長)はPTで発生する洗浄廃水から浸透液と洗浄水の両方を再利用できる「完全リサイクルPT装置」や「専用蛍光浸透液」、「蛍光浸透液・買い取りサービス」を開発し、完全リサイクルPTシステム(図1)として提供を開始した。探傷性能や経済性、環境対策といった課題を解決する新製品・サービスとして検査現場の顧客にて、洗浄廃水のみを再利用するためのPT装置を使用して工場内の廃水処理設備で処理する必要がある。このため、PT装置を使用していく上で大きな課題である。こうした課題に対してもある。

マークテック

完全リサイクルPTシステムの提供開始 浸透液・洗浄水など再利用



透液の再利用にも対応した『完全リサイクルPT』が新たに販売された。これは、これまでの約4分の1にまで削減(図2)、また独自の油水分離フィルターを採用することでバイオフィルムの発生を抑制し、フィルター交換などで半年以上の継続使用が可能。マークテックでは先ほど述べたように、X線CTスキャナ装置などの中古機器を回収し、現在の環境基準に適合するように整備して販売するリファービッシュ事業への参入も発表する。ビジネスモデルの一環として今回の完全リサイクルPTシステムの展開に努めていく方針だ。

このうち、完全リサイクルPT装置では洗浄水に特殊な処理を施し、洗浄廃水を繰り返し使用することができる。これによることができる。

して今回の完全リサイ

ルPTシステムの展開に